ななてい

発　行
第７偵察隊
総　務

「令和８年度偵察部隊合同訓練（偵察警戒車射撃競技会）」

接戦の末に掴んだ『優勝』競技会四連覇達成！！

隊は令和八年七月二十七日から三十日までの間、令和八年度師団偵察部隊合同訓練（偵察警戒車射撃競技会）を担任実施した。

今年度については北部方面隊内の各偵察隊及び第七師団隷下の各戦車連隊内偵察小隊、第六師団から第六偵察隊が参加し、計七個部隊で競技会は行われた。二十七日から二十九日の間で各部隊毎の練成射撃及び競技会統裁予行を実施して各所掌における運営要領を確認し、八月三十日競技会本番を迎えた。

射撃競技会当日は、各部隊長が自隊の分隊戦闘射撃を視察されるなか、各射撃分隊は極度の緊張やプレッシャーと闘いつつも、これまで練成してきた成果を遺憾なく発揮して競技会に臨んだ。

競技会は後半に差し掛かり、第四射群「分隊長宮戸三曹」による第七偵察隊が状況を開始した。これまで斥候小隊一丸となって積み重ねてきた分隊戦闘射撃の射撃練度を発揮して第七偵察隊はトップに躍り出た。残る三個分隊の戦闘射撃を斥候小隊の隊員は固唾を飲んで見つめ、全部隊の射撃終了後、最終結果が成績板に記載された。

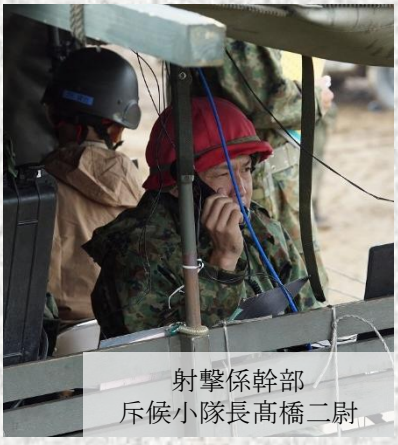
接戦の末、令和八年度師団偵察部隊合同訓練（偵察警戒車射撃競技会）は第七偵察隊が優勝し、競技会四連覇を達成した。



第七偵察隊長から優勝トロフィーを授与される瀬戸三曹

９月号のトピックス

１ページ
師団偵察部隊合同訓練
射撃競技会「優勝」
２ページ
師団偵察部隊合同訓練
宮城３曹「第１位」獲得
３ページ
師団偵察部隊合同訓練
センサの部「優勝」
４、５ページ
師団創隊７１周年記念行事
他各種訓練
６、７ページ
各種射撃訓練
８ページ
転出・転入紹介
他活躍隊員等紹介
９ページ
褒賞状等授与者紹介
他募集・７偵ＨＰ・編集後記



射撃係幹部
斥候小隊長髙橋二尉



躍進する偵察警戒車



一車分隊長を務めた
宮戸三曹



企画統制要員



令和８年度優勝分隊
斥候小隊「宮戸分隊」



二車長を務めた
高橋三曹

「令和８年度偵察部隊合同訓練（オートバイ練度判定）」

斥候小隊宮城３曹ノーミス最速で完走。練度判定「第１位」

斥候小隊は令和八年五月二十四日から二十八日の間、第二偵察隊（名寄）が担任実施した令和八年度偵察部隊合同訓練オートバイ練度判定に参加した。

斥候小隊長髙橋二尉は、訓練指導部に小鹿一曹及び北岡一曹を選任し、練成員として宮城三曹及び寺戸士長が参加した。当初、駐屯地内に設定した基本操縦訓練コース、演習場においては応用操縦訓練コースを各グループごとに練成し、総員四十二名が練度判定を受験した。

競技会のような緊迫した雰囲気で練度判定が進む中、宮城三曹と寺戸士長の両名は、会場の雰囲気にのまれることなく各種目を落ち着いた走りで丁寧にクリアし、安定した走りをみせた。

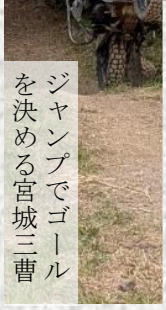
特に宮城三曹については本練度判定で唯一、各種目を減点なしで通過、走行タイムもトップでゴールし、練度判定トップの成績を収め第二偵察隊長より表彰された。寺戸士長についても数種目減点はあったものの、今後の練成訓練で次回は上位に食い込める走りをみせていた。

また、本訓練の指導にあたった小鹿一曹、北岡一曹も自身の経験等を踏まえて熱心に指導してオートバイ乗員の練度の底上げを行ってきた。これからも引き続き斥候小隊はオートバイ乗員の練度向上を図る。


第２偵察隊長より表彰される宮城３曹






ジャンプでゴールを決める宮城三曹




出走前の寺戸士長を激励する北岡一曹

「令和八年度偵察部隊合同訓練」

水路潜入要領を演練し偵察部隊としての能力向上を図る

隊は令和八年六月二十八日から三十日までの間、第十一偵察隊が担任実施した令和八年度偵察部隊合同訓練（水路潜入）に参加した。

各戦闘偵察小隊の小銃分隊及び斥候小隊は、着装泳訓練及び偵察用ボートの取扱い等の準備訓練を実施して本訓練に臨み、偵察用ボートを使用した転覆復旧及び昼・夜間での潜舟、操舵訓練を段階的に演練した。また、総合訓練では夜間におけるオートバイ積載の斥候班を輸送する一連の潜入行動を演練して、昼夜問わず水路潜入できるよう練度向上を図ることができた。


漕いで推進する偵察隊員


取扱い要領を演練する隊員


げん外機（推進装置）で潜舟訓練する偵察員




オートバイを積載して斥候班を輸送する一連の行動を演練

「令和８年度偵察部隊合同訓練（レーダ・センサ競技会）」

これまでの実績及び知見を遺憾なく発揮し、センサー班「優勝」の成果を収める

電子偵察小隊は令和八年八月十五日から十九日までの間、第五偵察隊（別海）が担任実施し、然別演習場等で実施された令和八年度偵察部隊合同訓練（レーダー・センサー）に参加した。

本訓練においては各偵察部隊の地上レーダー一号及び野戦情報探知装置の探知・識別能力を向上させるとともに、電子偵察監視能力（監視・識別）について評価された。

レーダー班は、八月十七日に扇ヶ原展望台において当初、班長計画によりレーダー哨を開設し、演習場を北上する車両の探知・識別を実施した。

センサー班は、八月十八日午前中をもって班長計画によりセンサー哨の開設及び示された地域に振動センサー等を埋設、午後に各部隊一斉に状況開始し然別演習場二経路を北上する車両の探知・識別を実施した。各班ともに昨年度よりも探知・識別能力の練度は向上しており、センサー班については高い解明率でセンサーの部「優勝」の成果を収めた。

電子偵察小隊は、じ後も地上レーダー一号及び野戦情報探知装置での探知識別能力を向上させ、隊の電子偵察監視能力の練度向上を図る。

レーダー班の訓練状況









センサー班









「東千歳駐屯地創立七十二周年　師団創隊七十一周年記念行事」
重車両三〇二両の迫力ある観閲行進

令和八年五月二十四日、東千歳駐屯地において第七師団創隊七十一周年東千歳駐屯地創立七十二周年記念行事が執り行われた。第二滑走路には第七師団隷下部隊及び東千歳駐屯地に駐屯する方面直轄部隊の車両三〇二両、人員一一二九名が集結し、記念式典及び観閲行進が行われた。

第七偵察隊は、戦闘車両群の先陣を切って行進し、師団の先駆けとしての威容を示した。


第７師団長に敬礼する偵察隊長


全車の状況を確認する偵察隊長




師団の攻撃に資する情報収集に任ずる第７偵察隊の動的展示

「令和八年度ＡＣ－ＴＥＳＣ」
敵の情報収集能力を無効化し、敵の攻撃前進を阻止

隊は令和八年六月十日、北海道大演習場恵庭地区で実施された、令和八年度ＡＣ－ＴＥＳＣに参加した。今年度は第六即応機動連隊の攻撃に対して、第七偵察隊は防御する想定で訓練は開始された。

状況開始後間もなく、前線において敵情を監視中の斥候小隊が、敵の偵察部隊を発見し、即座に射撃して撃破する等、敵の情報収集活動を無効化し敵の進出を遅滞するとともに、各戦闘偵察小隊によって敵の攻撃を見事に阻止して隊に与えられた任務を見事に達成した。


前方視察する戦車長


ドローンによる偵察を準備する隊員





「令和八年度師団システム通信訓練」
サイバー攻撃の検証結果に基づきシステム通信運営能力の強化を図る

本部付隊通信班は令和八年七月八日、第七師団が担任実施した令和八年度師団システム通信訓練に参加した。

通信班は当初、システム防護隊によるサイバーリテラシー教育を受けるとともに、サイバー攻撃に対する脆弱性の検証及び、サイバー攻撃を受けた際の部隊としての処置対策方法を学び、隊のシステム通信要員のサイバーリテラシー向上の資を得ることができた。






システム防護隊が構成したシステムをもとに検証及び処置対策方法を学ぶ通信班

「権限に応ずる訓練」
出動時における自衛隊の各種権限に基づく行動を演練

隊は、令和八年六月二十二日及び二十三日の二日間、自衛隊の各種権限に応ずる行動を演練した。

主に自衛官としての法的根拠に基づいた状況判断及び各種事態における班・分隊規模での各種行動を、各戦闘偵察小隊及び斥候小隊ごと二個分隊を編成して演練し、あらゆる事態にも対応できるよう練度向上を図った。


抵抗する不審人物を拘束する隊員


デモ活動に対する対処を演練






法務幹部を交え討議を実施




施設内に逃げ込んだ武装工作員の制圧及び施設内の安全化を演練

第一四九期一般陸曹候補生履修前教育」
入校を控えた陸曹候補生。
「心・技・体」を高めて入校に臨む

隊は令和八年六月十二日から二十六日までの間、第一四九期一般陸曹候補生前期履修前教育を実施した。

先任助教を務めた第三戦闘偵察小隊嶋田一曹は陸曹候補生課程入校予定者十名に対して、実員指揮能力及び状況判断能力を鍛え、陸曹に必要な知識及び技能を向上させた。






三五キロ行進訓練




分隊命令下達及び分隊の攻撃




訓練開始申告及び偵察隊長の訓話

「小銃分隊機能別射撃」
暗視装置と赤外線を使用して個々の夜間射撃技術を向上

隊は令和八年六月十七日小銃分隊による機能別射撃を実施した。
主に若年隊員の昼間及び夜間における迅速確実な射撃技術の修得を目標として演練し、特に夜間での隊員個々の射撃技術を向上することができた。
隊は引き続き練成射撃を実施して、各種状況における射撃技術の練度向上を図る。



昼間において各人の射撃諸元を確認



目標に照射した赤外線を暗視眼鏡で視認し射撃

「令和八年度ドアガン射撃」
第七飛行隊と連携して空中機動射撃を演練

令和八年六月七日第七偵察隊空中偵察班は、第七飛行隊が担任する令和八年度ドアガン射撃訓練に参加した。
本訓練は静内対空射場で実施されたヘリコプターからの機関銃射撃訓練であり、空中偵察班は事前に射撃要領及び各種動作等を射撃予習により演練して、ドアガン射撃に臨んだ。
本射撃訓練は、予習で積み重ねた練度を発揮して、空中機動間における射撃の練度を向上することができた。


射撃位置へ移動中


目標へ射撃する隊員


安全確認をする空偵班長


射撃準備をしている隊員

「八十一ミリ迫撃砲射撃」
射撃指揮班、射撃分隊、射撃観測班による三者連携要領を演練

隊は令和八年七月九日北大演島松地区において、八十一ミリ迫撃砲射撃訓練を実施した。
本射撃訓練では射撃指揮班、射撃分隊、射撃観測班による三者連携要領及び各種射撃要領を演練した。また、射撃分隊長としての経験が浅い隊員の指揮能力の向上及び分隊内の連携要領を演練して迫撃砲小隊としての射撃練度を向上させることができた。


分隊に射撃号令をかける分隊長


弾着を観測し判定・修正を行う


発射の瞬間


分隊に射撃命令を下達する指揮班

「令和八年度師団徹甲弾等射撃集合訓練」
各種射撃訓練を演練し、じ後の訓練の資を得る

隊は令和八年七月十六日から二十四日までの間で実施された令和八年度師団徹甲弾等射撃集合訓練に参加した。

本訓練は七月十六日から十八日の間で九〇式戦車による一二〇ミリ戦車砲徹甲弾射撃、七月二十一日から二十四日の間で七三式装甲車による六〇ミリ発煙弾射撃を、それぞれの期間で実施し、第七偵察隊から戦車分隊及び小銃分隊がそれぞれの訓練に参加した。

各射撃訓練に参加した戦車分隊及び小銃分隊は、射撃に関する射撃諸元の把握及び射弾観測・修正並びに、発煙弾による弾幕の景況を確認することができた。


９０式戦車の徹甲弾射撃の様子


７３式装甲車による発煙弾射撃の様子


発煙弾発射後の煙幕効果を確認

「九〇式戦車射撃訓練」
昼・夜間での射撃訓練を実施して分隊の射撃練度を高める

隊は令和八年八月三日北大演島松地区において戦車射撃訓練を実施した。

今年度の師団戦車射撃競技会にむけて射撃諸元の掌握及び各車乗員の練度向上を図り、じ後の競技会の資を得た。併せて若年砲手に対する夜間での連装銃射撃訓練を実施して、射弾の観測・修正要領について修得させた。

隊は引き続き練成訓練を実施して、射撃練度の向上を図る。


射撃訓練を統制する訓練班


横行しながら射撃する９０式戦車


夜間における連装銃射撃訓練の様子。曳光弾が闇夜を照らす



「前期定期異動（転出）」
七偵での勤務を終えて　新たな勤務地へ



令和８年７月２４日撮影


渡部２曹


菊地２曹


松田１尉


熊谷３曹


二見３曹


矢壷２曹


中村３曹


渡部３曹


山下３曹


万歳三唱で送り出し


青木３曹指揮による隊歌斉唱

隊は令和八年七月二十四日前期定期異動に伴う転出行事を実施した。

この度の異動で九名の隊員を送り出すこととなったが、それぞれの立場において共に勤務をしてきた偵友との別れは、胸が締め付けられる思いではあるが、転出者の新たな勤務地での活躍を祈念し明るく盛大に送り出すことができた。

「前期定期異動（転入）」
五名の転入者を迎え　偵察隊の精強化を図る


３等陸曹
橋本　渉


３等陸曹
種市　侑也


２等陸曹
矢野　浩亀


１等陸尉
若林　成嘉


１等陸尉
細川　幸宏



隊は令和八年八月六日前期定期異動に伴う転入行事を実施した。

新たに第七偵察隊に配置された五名の隊員は紹介行事においてそれぞれ自己紹介及び偵察隊勤務の抱負を述べた。

隊はこの度の異動による五名の新たな戦力を迎え一致団結、精強第七偵察隊を築き上げていく。

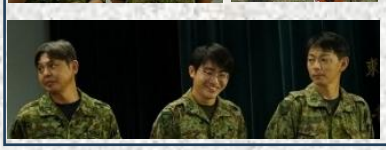
各種競技会等活躍隊員紹介











令和八年度偵察部隊合同訓練
（オートバイ練度判定）
「第一位」
斥候小隊　三等陸曹　宮城　広光

令和八年度偵察部隊合同訓練
（偵察警戒車射撃競技会）
「優　勝」
一車長　三等陸曹　宮戸　鉄平
砲　手　三等陸曹　山崎　大雅
操縦手　三等陸曹　石井　琢磨
斥候員　三等陸曹　田内　皇丞
二車長　三等陸曹　高橋　季希
砲　手　三等陸曹　瀬戸　奏太
操縦手　三等陸曹　澁谷　海斗
斥候員　一等陸士　今井　巧

令和八年度偵察部隊合同訓練
（レーダー・センサー競技会）
「優　勝」（センサーの部）
センサー班長　准陸尉　岩田　孝一
センサー陸曹　一等陸曹　渡邊　和真
〃　一等陸曹　斉藤　直志
〃　二等陸曹　河内　宏次
〃　三等陸曹　小宮　薫

褒賞状受賞者紹介

第一戦闘偵察小隊
三等陸曹　坂本　龍星

令和八年度自衛官候補生課程教育の中隊本部健康陸曹として給養に関する業務を的確に実施した功績を称え、第一二〇教育大隊長　二等陸佐　羽嶋　玲二より褒賞された。



第二戦闘偵察小隊
三等陸曹　奥　亮介

令和八年度自衛官候補生課程教育の第七班長として区隊長を適切に補佐し教育隊の円滑な隊務運営に貢献した功績が認められ、第十一普通科連隊教育隊長　二等陸佐　樋田　純より褒賞された。



斥候小隊
三等陸曹　髙田　航希

第一五五期初級陸曹特技課程の終始を通じ積極かつ熱心に修学し優秀な成績を修め、陸上自衛隊富士学校　機甲科部　最先任上級曹長　准陸尉　掛橋　健より褒賞された。



賞詞

令和八年度ＡＣ－ＴＥＳＣに赤部隊斥候小隊として参加し、隊の任務達成に大きく貢献した功績を認められ、北部方面総監　陸将　井戸川　一友よりそれぞれ表彰された。

第四級防衛功労章
斥候小隊
二等陸尉　髙橋　健二（写真上）

第五級防衛功労章
斥候小隊
三等陸曹　田内　皇丞（写真下）





「隊員募集への協力について」

令和八年度、陸上自衛隊北部方面隊では、自衛官候補生及び曹候補生を始め、防大、生徒等の募集に日々努力をしておりますが、今般の募集状況は非常に厳しい状況にあります。
将来にわたる平和を維持するため、第一線部隊や隊員も「自主募集」に強く取り組む必要性を痛感しております。
ご家族、ＯＢの皆様、隊員のご友人等で、「自衛官」という職業に興味がある方をご存じでいらっしゃいましたら、ご連絡をお願い致します。

〇一二三－二三－五一三一
（内線　二六九五）
田中二尉まで

ななてい「Ｘ」

ななていinstagram



ご友人やご親戚、ご近所の方にぜひ、「ななてい」ＳＮＳのご紹介をお願いします。
閲覧後は「フォロー又はいいね」をお願いします。

編集後記

お盆も過ぎて気温も落ち着き、北海道はとても過ごしやすい季節となりました。
令和八年度の偵察部隊合同訓練では各種競技会、練度判定において第七偵察隊が優秀な成果を収めていることに、改めて第七偵察隊は強い部隊なんだと実感しました。
また、今年度の隊訓練検閲の受閲及び師団戦車射撃競技会が控えていますので、この成果は機関紙ななてい一月号で掲載したいと思います。

第七偵察隊
広報陸曹　幌一曹

各種訓練等を、「ななてい」「Ｘ（旧Ｔｗｉｔｔｅｒ）」及び「ななてい」Ｉｎｓｔａｇｒａｍにてアップしていますので、閲覧・登録をよろしくお願いします。今後も変わらぬご支援・ご協力をお願いします。

北海道千歳市祝梅一〇一六
陸上自衛隊東千歳駐屯地
第七偵察隊
〇一二三－二三－五一三一
（内線二六八一）

